

文化財保存全国協議会第48回新潟大会

次代に引き継ぐ文化財保存運動

記念講演「新潟の歴史・風土と遺跡—その特質と魅力—」

坂井 秀弥 さん (奈良大学文学部教授)

プロフィール 1955年、新潟市生まれ。新潟県教育委員会で県内各地の古代遺跡の調査に携わったのち、文化庁に勤務。全国の遺跡の発掘調査指導にあたりながら、日本の埋蔵文化財行政を長年リードしてきた。専門は、古代・中世における地域社会の考古学的研究、日本の文化財保護と遺跡調査についての歴史と特質、文化財を生かした地域づくりについての実践的研究。



基調講演「明日への文化財保存運動の引き継ぎ」

橋本 博文 さん (新潟大学人文学部教授)

プロフィール 1953年、群馬県太田市生まれ。新潟大学旭町学術資料展示館館長。古墳時代の埴輪・首長墓・豪族居館を幅広い視点で研究。新潟市東区牡丹山諏訪神社古墳で円筒埴輪を発見し、発掘調査を継続している。文化財保存全国協議会の代表委員として、日本の遺跡保存運動の最前線に立つ。

7月2日 (日) 9:30~16:30 (9:00開場)

新潟大学医学部有壬記念館・大会議室

申込不要

▼新潟大学あさひまちキャンパス内 (新潟市中央区旭町通1-757 TEL. 025-227-2037) 白山駅下車徒歩約15分

資料代500円



◆報告:次代を見据えた全国の活動の数々を報告します。

キーワード:高校考古・黒耀石・学生が魅せる・
火焰街道博学連携教育(裏面参照)

◆ポスターセッション(大会当日、1階ロビーにて開催)

- ・世界遺産登録を目指す佐渡の小学生
- ・新潟県の火焰街道プロジェクト
- ・小学生が見つけた前方後円墳(長野県伊那市)
- ・関西学生考古学研究会の活動
- ・寝屋川の歴史と文化を考える会(大阪府)ほか

主催:文化財保存全国協議会・同第48回新潟大会実行委員会

共催:文化財保存新潟県協議会・新潟大学旭町学術資料展示館・新潟大学人文学部

協力:新潟市歴史博物館(みなとびあ)

後援:新潟県教育委員会・新潟市・胎内市教育委員会

新潟県考古学会・新潟史学会・新潟県地名研究会・新潟県歴史教育者協議会・

にいがた県民教育研究所・新潟郷土史研究会・新潟文化財観賞会・日本科学者会議新潟支部・

沼垂の今昔を語る会・見附の自然と遺跡を守る会・角田山麓の遺跡を考える会

新潟日报社・NHK新潟放送局・BSN新潟放送・N S T・TeNYテレビ新潟・UX新潟テレビ21

お問い合わせ:新潟市西区小新西2丁目7-17 木村英祐(キムラ ヒデヒロ) 方 電話:090-2735-5536

文化財保存全国協議会第48回新潟大会

大会テーマ 「次代に引き継ぐ文化財保存運動」

文化財保存全国協議会（略称、文全協）は、市民と研究者が一体となって地域の遺跡に学び、危機にある文化財を守るために考え・行動する唯一の全国組織です。

戦後、さまざまな「開発」工事による文化財の破壊が激化し、私たちの身近にのこされていた、古墳などの埋蔵文化財や美しい自然が、ともに次々と消滅していきました。文化財を守り後世に伝えることは、現代に生きる私たちの責任であるとともに、豊かな自然と文化的生活を守るためにも欠かせません。文化財保存全国協議会は、このような激しい破壊から日本の文化財を守るために、あらゆる人々とともに学び、行動する全国団体として、1970年に結成されました。

この文全協は毎年全国各地で総会・大会を行ってきており、今年度は19年ぶりに新潟で開催します。第29回新潟大会では「市民のための文化財保存ー21世紀への展望ー」をテーマに、21世紀に向けた文化財保存のあり方を模索し、多数の市民が感動を共有しました。今回は、「次代に引き継ぐ文化財保存運動」と題し、国民の財産である遺跡などの文化財、そしてそれを守り活用する文化財保存運動をどう次世代に引き継いでいくのかを考えます。ぜひご参加ください。

【大会】7月2日（日）9:30～16:30 新潟大学医学部有壬記念館

記念講演 「新潟の歴史・風土と遺跡ーその特質と魅力ー」

坂井秀弥 さん(奈良大学文学部教授)

基調講演 「明日への文化財保存運動の引き継ぎ」

橋本博文 さん(新潟大学教授・文化財保存全国協議会代表委員)

報告 ①「学生が魅せる考古学～京都の博物館展示の取り組み～」

朝井琢也 さん(関西学生考古学研究会・同志社大学大学院)

②「高校考古の課題と可能性ー特に遺跡・遺物の保存と活用の観点からー」

市元 壘 さん(東京国立博物館 主任研究員)

③「黒耀石に未来を託して～地域と世界をつなぐミュージアム～」

大竹幸恵 さん(長野県長和町黒耀石体験ミュージアム)

④「火焰街道博学連携プロジェクトの15年」

金子和宏 さん(南魚沼市立五日町小学校教頭)



※文全協の会員でない方も参加できます。申し込みは不要です。なお、内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

大会前日には遺跡見学会を開催！ ※会員限定！（この機会にご入会ください。）

7月1日（土）8:30～18:00

遺跡見学会「列島東西の境界を探る見学会～新発見や整備が進む新潟県北の注目遺跡～」

1987年以降の市民による保存運動で残され、現在は歴史の広場として整備・活用されている古津八幡山遺跡や県内最大の円墳・古津八幡山古墳。2012年の発掘調査で、玉類、大刀・槍（剣）などの鉄製品、銅鏡・銅鏃、弓のほか、3点の靱、被葬者の歯も見つかって注目を浴びた胎内市城の山古墳や中世荘園として名高い奥山荘の遺跡群など。全国的にも著名な新潟県北部の遺跡の数々を見学します。

大型バス1台 定員50人（事前申込、先着順） 参加費（バス代・昼食代・入館料・資料代含む）：5000円（予価）

集合 JR新潟駅南口 解散 JR新潟駅南口 18:00

主な見学予定地：古津八幡山遺跡・古津八幡山古墳・弥生の丘展示館（国史跡、新潟市秋葉区、弥生・古墳・古代）、新潟県埋蔵文化財センター（新潟市秋葉区）、城の山古墳（胎内市、古墳）、奥山荘歴史館・江上館跡（胎内市、中世）、黒川郷土文化伝習館（胎内市）、新潟市歴史博物館（みなとびあ）（新潟市中央区）など

見学地は当日の天候、渋滞状況等で変更する場合があります。ご了承ください。



胎内市城の山古墳

○大会会場の有壬記念館は全館飲食禁止です。そのため、会場近くの「割烹 勘吉」を貸し切り、昼食（価格は1,000円 先着40名）を用意します。ご利用の方は事前にご予約ください。なお、近くの飲食店は限られますが、「新潟大学医歯学総合病院食堂」（病院12階）などが利用可能です。また、昼食持参の方には、当日、昼食会場をご案内します。

○見学会・懇親会・昼食の申し込みについて（ハガキ・ファックス・Eメールで）

申込先 〒950-2024 新潟市西区小新西2丁目7-17 木村英祐(木村 ヒロヒコ) 方

電話：090-2735-5536 ファックス：025-267-9209

mail bun-sin-kyou@js8.so-net.ne.jp(文化財保存新潟県協議会)

ハガキ・ファックス・Eメール（できるだけEメールをお使いください）で、参加者氏名、郵便番号、住所、電話番号、生年月日（見学会に参加する方）、遺跡見学会・懇親会の参加、昼食申し込みの有無を明記し、お申し込みください。確認後、折り返し受付確認のご連絡をさせていただきます。先着順で受け付け、費用は当日徴収します。入会希望もこちらへ。